

学校法人越原学園第5回ガバナンス改善室議事要録

1. 日 時 令和7年10月23日(木)

2. 議題及び内容

1) ガバナンス改善に関する意見収集状況

ガバナンス改善に関する意見募集について、10月23日9時時点では94件の意見が寄せられていることが報告された。

2) 現状のガバナンス

(1) 問題点

以下の点について協議し、現状の課題として共有した。

- ・特定の人物に権限が過度に集中していたことが、今回の問題の重要な要因であったこと。
- ・教職員の中には、意見を述べづらい雰囲気があったとの指摘があり、適切な意見表明が困難な状況が存在した可能性があること。
- ・現行のガバナンス体制は、元副理事長が就任以降に徐々に変化していったと推察されること。

(2) 改善方向性

ガバナンス改善に向け、以下の方向性を確認した。

- ・理事長は経営ガバナンス、学長は教育研究ガバナンスを中心的に担うという役割分担を明確化すること。
- ・理事会および評議員会の機能改善が必要であること。
- ・教職員へのヒアリングを実施することが望ましく、退職者への意見聴取も検討すること。
- ・情報開示を継続し、透明性を確保すること
- ・ガバナンス改善室に外部有識者を加えることが、改善の客観性・中立性の確保に寄与すると考えられること。

3) ガバナンス改善方法

(1) 理事長、学長が教職員に対して直接説明する教職員向け説明会の開催が必要であるとして理事長、学長に向け10月中に実施するよう要請する。

(2) ガバナンス改善室規程の改正

現行規程（10月10日施行）について以下の点が指摘され、規程改正の必要性を確認した。

- ・ガバナンス改善室の独立性を明確に担保する規定がないこと。
- ・外部有識者が室員として参画できない構造となっていること。
- ・室員間およびガバナンス改善室としての行動原則を定める規定が設けられていないこと。

これらを踏まえ、速やかに理事会で規程改正を審議するよう要請することとした。

4) 今後の課題

- ① 11月末までのガバナンス改善報告書作成は必要不可欠であること
- ② ガバナンス改善に対する問題意識や危機感を共有するため、迅速かつ継続的な情報発信が必要であること。

次回予定：10月28日(火)